

大切な稲は、

私におまかせあれ。



箱大臣[®]

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

粒剤

適用
拡大

高密度は種に
対応

紋枯病をはじめ
幅広い水稻の病害虫に優れた効果



いもち病



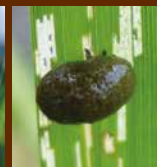
紋枯病



白葉枯病



もみ枯細菌病



イネドロオイムシ(幼虫)



イネミズゾウムシ(成虫)



ヒメビウンカ(成虫)



箱大臣® 粒剤



- 一 紋枯病に対する優れた効果
- 二 いもち病に対する安定した高い効果
- 三 水稻の主要害虫に対する優れた効果

適用病害虫および使用方法

有効成分：クロチアニジン…1.5%、イソチアニル…2.0%、フラトピル…4.0%

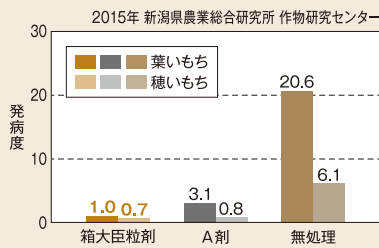
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	フラトピルを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	いもち病 紋枯病 イネミスゾウムシ イネドロオウムシ キリウジガガンボ	1kg/10a	は種時	1回	は種同時 施薬機を 用いて 土中施用 する	4回以内 （は種時までの 処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計3回以内）	3回以内 （は種時までの 処理は1回以内、 本田では 2回以内）	2回以内 （は種時までの 処理は 1回以内）
稲（箱育苗）	いもち病 白葉枯病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内類褐変病 イネミスゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm.) 使用土壌約5ℓ 1箱当り50g 高密度には種する 場合は1kg/10a [育苗箱(30×60×3cm.) 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50~100g]	移植7日前 ~移植当日		育苗箱の 上から 均一に 散布する	4回以内 （移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計3回以内）	3回以内 （移植時までの 処理は1回以内、 本田では 2回以内）	2回以内 （移植時までの 処理は 1回以内）
稲	いもち病 紋枯病 イネミスゾウムシ イネドロオウムシ	1kg/10a	移植時		側条施用	4回以内 （直播ではは種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計3回以内）	3回以内 （直播ではは種時 又は移植時までの 処理は1回以内、 本田では 2回以内）	2回以内 （直播ではは種時 又は 移植時までの 処理は1回以内）

2021年11月現在の登録内容(太字は2021年10月27日適用拡大)

試験成績

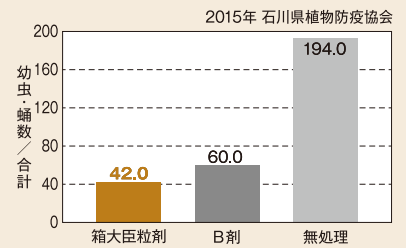
■ いもち病(葉・穂)

品 種：わたぼうし
は 種 日：4月16日 移 植 日：5月11日
処 理 日：箱大臣/5月11日(移植当日)
A 剤/4月24日(緑化期)
発生状況：葉いもち/中発生(接種) 穂いもち/少発生
調 査 日：葉いもち/7月24日 穂いもち/8月18日
調査方法：
【葉いもち】各区40株3か所について上位3株
の株あたり病斑数を調査し発病度を算出
【穂いもち】各区40株3か所について発病
程度別穂数を調査し発病度を算出



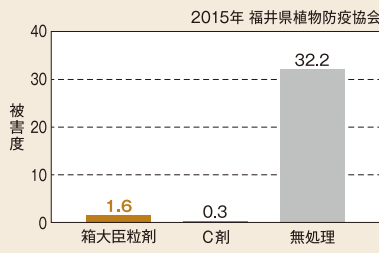
■ イネドロオウムシ

品 種：コシヒカリ
は 種 日：4月5日
移 植 日：5月8日
処 理 日：5月8日(移植当日)
発生状況：中発生
調 査 日：6月8日(移植31日後)
調査方法：区内3か所において1か所
あたり25株の幼虫及び蛹数を調査



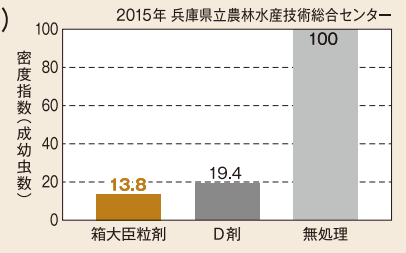
■ 紋枯病

品 種：ハナエチゼン
は 種 日：4月5日
移 植 日：4月30日
処 理 日：箱大臣/4月30日(移植当日)
C 剤/4月5日(は種時)
発生状況：中発生
調 査 日：8月7日(移植99日後)
調査方法：各区3か所、1か所あたり50株
について発病株率と病斑高率
を調査し被害度を算出



■ ウンカ類(セジロウンカ)

品 種：キヌヒカリ
は 種 日：5月12日
移 植 日：6月8日
処 理 日：6月8日(移植当日)
発生状況：少発生
調 査 日：8月1日(移植54日後)
調査方法：1区40株について払い落と
し法により成幼虫数を調査
(3反復)



注意事項

(効果・被害等の注意)

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。

- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(安全使用上の注意)

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所に置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2022年6月作成 全企画社 P3202206002